

令和3年 死亡災害の概要 【建設業】

神奈川労働局

令和4年5月30日確定

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 14時頃	建築工事業 10人～29人 70歳～74歳	はしご等 墜落、転落	自社の倉庫内で資材作成中、材料を取り出すために乗っていた脚立から後ろ向きに落ち、頭を打った。
2	1月 14時頃	建築工事業 (1次下請) 10人～29人 50歳～54歳	建築物、構築物 崩壊、倒壊	家屋解体工事において、敷地境界線沿いのコンクリートブロック塀を敷地内に倒すため、被災者が研りハンマー(ガソリンエンジン式)で塀の土台との境を横に研る作業を行い、ほぼ終えたところで塀(長さ約15m、重量約1.8トン)が敷地内に倒れ下敷きになった。
3	2月 15時頃	土木工事業 (1次下請) 100人～299人 25歳～29歳	建築物、構築物 崩壊、倒壊	道路工事において、掘削土砂の処理プラントのホッパーが詰まったため、ホッパー下端の排出口と排出コンベヤーの隙間に仰向けで入り、スコップ等で詰まりをかきだしていたところ、詰まりの上に溜まっていた土砂が崩れ落ち、下敷きになった。
4	3月	建築工事業 (派遣先) ～9人 45歳～49歳	起因物なし その他	ビル改修工事の元請に派遣されていた管理者が、現場内で計測作業中に突然床に倒れこみ救急搬送され、翌日に死亡した。その後の調査で、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められた。
5	3月 10時頃	土木工事業 30人～49人 70歳～74歳	その他の乗物 交通事故 (その他)	作業船(総トン数5トン未満)に測量士を乗せ海底を測量中、船底が消波ブロックにぶつかり傾いたので最寄りの漁港に避難した。棧橋に係留後、船長(船員に該当しない労働者)が船上で破損状況を確認中、急速に沈み始め、約10秒で沈没した際に、海中に吸い込まれた。
6	3月	建築工事業 (2次下請) ～9人 60歳～64歳	起因物なし その他	ビル新築工事において設備工事施工管理者が、現場事務所内で椅子に座り事務作業中に突然床に倒れこみ救急搬送され、翌日に死亡した。その後の調査で、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められた。
7	4月 11時頃	建築工事業 ～9人 75歳～79歳	丸のこ盤 切れ、こすれ	被災者は手持ち式グラインダを改造(回転と石を外径125ミリメートルの石こうボード用丸のこに交換したもので、カバーなし)した丸のこ盤を持って木造建築物の内壁を切除中、当該丸のこ盤を落とした際に自身の太ももに切創を負い、出血多量となった。

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
8	5月 10時頃	建築工事業 (2次下請) ～9人 50歳～54歳	高所作業車 はさまれ、 巻き込まれ	高速道路料金所の表示板交換工事において、ブーム式高所作業車の作業床(バケット)に一人で乗り込み作業していたところ、料金所天井に背中を付け、胸がバケット上縁(手すり部分)に押し上げられる形ではさまれている状態(胸部圧迫による窒息状態)でいるのが発見された。
9	6月 8時頃	土木工事業 (1次下請) ～9人 55歳～59歳	高所作業車 感電	ゴルフ場のコース改修工事において、高所作業車(伸縮ブーム・バスケット・トラック型)に2人が乗り込み、チェーンソーを使って樹木を上から段階的に伐採していたところ、66,000ボルト送電線にバスケットが接触し、2人とも死亡した(1次下請の労働者)。
10	6月 8時頃	土木工事業 (2次下請) ～9人 45歳～49歳	高所作業車 感電	同上(2次下請の労働者)
11	6月 14時頃	建築工事業 (2次下請) 10人～29人 50歳～54歳	玉掛用具 飛来、落下	6階建てビル新築工事において、バスダクトを積んだパレット2枚を同時に楊重していた。高さ30メートル付近で、バスダクト約350キログラムを積んだパレットのナイロンスリングが2本ともクレーンのフックから外れ、地上で別作業中の被災者の上に落下した。
12	6月 9時頃	土木工事業 ～9人 55歳～59歳	水 おぼれ	河川修繕工事において水深3.5メートルの川底から水深0.4メートルまで岸に沿って捨石を積んでいた。発注者あて写真撮影の準備中、被災者が捨石の下流で溺れているところを発見された。
13	7月 14時頃	建築工事業 ～9人 55歳～59歳	足場 墜落、転落	マンションの修繕工事現場において、外部足場を組立て中、高さ約2.8メートルの単管抱き足場から、さらに上の層へよじ登ろうとしてバランスを崩し墜落した。
14	8月 14時頃	建築工事業 (1次下請) ～9人 50歳～54歳	はしご等 墜落、転落	戸建て住宅2階のエアコン交換工事において、一人で2階外壁の配管交換作業中、外壁に立てかけたはしご(脚立を開いたもの)から、敷地境界フェンスを越えて同フェンス上端から3メートル下の隣家敷地内に墜落した。

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
15	9月 11時頃	建築工事業 (2次下請) ～9人 35歳～39歳	建築物、構築物 墜落、転落	体育施設の電球の交換工事において、被災者の乗った天井板(グラスウールボード)が外れ、天井板とともに約15メートル墜落した。
16	9月 15時頃	建築工事業 ～9人 25歳～29歳	建築物、構築物 崩壊、倒壊	RC造2階建て建物の解体工事現場において、被災者は建物1階内部から解体用建設機械による解体個所にホースを向けて散水を行っていた。被災者の直上の既存建物の2階部分の一部(推定13.6トン)が崩落し、下敷きとなった。
17	9月 14時頃	建築工事業 (3次下請) ～9人 30歳～34歳	建築物、構築物 墜落、転落	鉄骨造6階建てビル新築工事において、キャットウォークに格子状鋼製床材を敷設する作業中、約4メートル下の1階コンクリート床に倒れているところを発見された。手すりのないところから墜落したと推定される。
18	10月 12時頃	土木工事業 (1次下請) 10人～29人 60歳～64歳	トラック 交通事故 (道路)	ガス工事後の道路復旧工事において、傾斜8度の坂道でセーフティローダーダンプ(荷台が後方にスライドし後端が接地する車載・土砂兼用ダンプ)にドラグショベルの自走積み直後、無人の同ダンプが坂道を逸走し、37メートル先のフェンスを突き破って道路下に落ち横転した。 被災者は逸走を止めようとしてフェンスと同ダンプとの間にはさまれた。
19	11月 14時頃	その他の 建設工事業 (1次下請) 10人～29人 65歳～69歳	電力設備 感電	発注者の工場内において試験電源回路の支持碍子を一人で清掃していたところ、製品の試験のための架電が始まり3万500ボルトに感電し、約2か月後に死亡した。
20	11月 14時頃	建築工事業 (2次下請) 10人～29人 50歳～54歳	地山、岩石 崩壊、倒壊	鉄骨造9階建て商業ビル新築工事において、被災者は、掘削深さ2メートル強の根切り床で、山留めの横矢板壁の寸法をしゃがんだ姿勢で測定中、背後の地山(基礎工のため地上から車両系建設機械で掘り下げ途中の掘削面)が突然崩れ、胸まで土砂に埋もれた。
21	12月 17時頃	建築工事業 (1次下請) ～9人 65歳～69歳	はしご等 墜落、転落	3階建て木造住宅新築現場において、内装を被災者1人で施工していたところ、はしご(2階床にかけたもの)の足元の1階仮床に倒れているところを発見された。はしごから落ちて頭を打つたと推定される。